

群馬県館林市方言の待遇表現

河内 秀樹

I. はじめに

- (1) 調査対象地：群馬県館林市は、群馬県の最も東の邑楽郡の中に位置する。この地域は、栃木県・茨城県・埼玉県との境界地域にあたり、他地域の人々との交流が盛んな地域であると考えられる。市の北部は農業地域である。
- (2) 調査年月日：1997年4月28日（月）午後1時から午後2時まで
- (3) 話者：平田義江氏 1922年（大正11年）12月19日生（75歳） 無職
同席者：河内よし（調査者の祖母） 1926年（大正15年）6月10日生（71歳） 無職
- (4) 調査者・調査場所：河内宅に遊びに来ていただいているところをお願いして、河内が面接で調査させていただいた。
- (5) 調査方法：当該調査票による質問調査。
- (6) 表記方法：① 方言事象はカタカナ表音表記とする。
② アクセントは高音部に棒線を付す。また、語末音調の上昇・下降についても棒線を付す。なお、当地域特有の上昇の文アクセントも次の例のように表記する。（例、イガナイー）
③ 回答事象が複数にわたる場合には、斜線（/）を付し列記する。順序は原則として、教示者の回答順とする。
④ 筆者の説明は<>中に記す。

II. 調査結果

I. 尊敬表現

I-1 対者敬語

- (1) A お前は アンタ
元気かね ゲンキー
- B あなたは オタクワ
元気かね オゲンキデスカ
- C あなたは （なし）/オタクワ
元気かね オゲンキデスカ/オカワリアリマセンカ
- (2) A あしたは家に居るか イルー アシター
- B あしたは家に居るか アシタ イルー
- C あしたは家に居られますか アシタ ゴザイタクデスカ
- (3) A あした行くか アシター イグー

- B あした行きますか アシター イグー <Aに同じであった。>
 C あした行きますか アシタ イギマスカー
- (4) A 温泉に行かないか オンセンニ イガナイー
 B 温泉に行かれませんか イッテ イタダケマスカ
 C 温泉に行かれませんか ゴイッショー シテイタダケマスカー
- (5) A どんな仕事をしますか ドンナ シゴトオ スル ヨテーデスカ
 B どんな仕事をされますか ドンナ シゴト ナサリマスカ
- (6) A 見ましたか ミタ
 B 見ましたか ミマシタカ/ミラレマシタカ
- (7) A ゆうべは何時に寝ましたか ナンジニ ネマシタカ
 B ゆうべは何時に寝ましたか ナンジゴロ ヤスミマシタカ
 C 寝てください ネテクダサイ
- (8) A どこに行っているか ドコ イグン
 B どこに行っていますか ドチラエ イグンデスカ
 C どこに行っていますか ドチラニ イラッシャルンデスカ
- (9) A どうぞ食べてくれ ドゾ タベテネ
 B どうぞ食べてください タベテ クダサイ
 C どうぞ食べてください タベテ クダサイ <Bに同じであった。>
- (10) A その写真を私に見せてくれないか シャシン ミセテネ
 B その写真を私に見せてくださいますか ミセテ クレル
 C その写真を私に見せてくださいますか ミセテ クダサイ <Bほど語末が
 上昇しない。>

I - 2 第三者敬語

- (11) A あしたは家に居るだろう イルダロカ/イルダロ
 B あしたは家に居るだろう イルト オモイマス ケド
 C あしたは家におられるでしょう イルト オモイマス ケド <Bとは、語末の
 文アクセントが異なる。>
- (12) A 居なかった イナインダヨ
 B 居なかった ルスダッタ
 C 居なかった ルスダッタデス
- (13) A そう言った コー イッテタ ケド
 B そう言った コー イッテタンダ ケド <「ン」に相手に対する重みがあらわ
 れる。また、語末をのばさない点も同様である。>
- (14) A 今そこに行っていた イマ ソコニ イタヨ <「イタヨ」で行っていたの意を

あらわすことができる。>

B 今そこに行っておられた オリマシタケド

C 今そこに行っておられた オリマシタケド

<Bと同じ。また、「居た」で「行っていた」の意として通用する。>

(15) A 友達が来ている キテマスヨー

B 来ている キテマスヨー <Aと同じであった。>

C 来ている ミエテマスヨ

(16) A 仕事をしている シゴトオ シテル

B 仕事をしている シゴトオ シテイマス

(17) A 見せてもらった ミセテモラッタ

B 見せてもらった ミセテモラッタノヨ

C 見せてもらった ミセテモラッタケド <基本的にBとCとは変化がない。>

(18) A 見せてくれた ミセテモラッタ

B 見せてくれた ミセテモラッタ

C 見せてくれた ミセテモラッタ <何れの場合も、同じ回答であった。>

(19) A 私にくださった モラッタノヨ

B 私にくださった モラッタダケド <期待する回答は得られなかった。>

(20) A いただいた モライマシタ

B いただいた イタダキマシタ <(19)とともに、あまり謙譲的な表現はみられなかった。>

II. 謙譲表現

II-1 謙譲表現

(21) A 私も ワタシワ

B 私も ワタシモ

C 私も ワタシモ <Aでは、謙譲表現はみられない。BやCでもこのくらいであった。>

(22) A 十分に食べました イッパイ ヨバレマシタノデ

B 十分に食べました イッパイ ヨバレマシタノイタダキマシタ

(23) A 持ちましょう モチマスカラ

B 持ちましょう モチマショー

(24) A 待たせたね マタセチャツテ ゴメンネ <親しい間柄では謙譲はない。>

B お待たせしました オマタセシテ モーシワケナイデス

C お待たせしました オマタセシテ スイマセンデシタネ

く「お待たせしました」より、むしろ、その後が続くことばが相手への敬意を示す。従って、謙讓的表現が弱くなっているのではないかと思われる。>

- (25) A 駅で待っているよ エキデ マツテイルカラネ
 B 駅で待っていますよ エキデ マツテマスカラ
 C 駅で待っていますよ エキデ マツテマスカラ

< BとCとは、文アクセントの違いにより、その待遇を変化させる。>

- (26) A 言ってくれ イツテクレ
 B 言ってくれ イツテイタカラ／イツテマシタカラ
 C 言ってくれ イツテイタカラ／イツテマシタカラ

- (27) A これをやろう コレー ヤル
 B これをあげましょう ソマツナモンデスケド ドーデスカ
 C これをあげましょう ソマツナモンデスケド ドーデスカ

< BとCとでは、ヤル、アゲル等のことばをつかうのは失礼になるとの教示であった。>

II - 2 身内敬語

- (28) A 買ってやった カツテヤッタ
 B 買ってやった カツテヤッタ
 C 買ってやった カツテヤッタ <何れの場合も違いはない。>
 (29) A 主人はもう帰っている カエリマシタヨ モー
 B 主人はもう帰っています モー カエッテオリマスヨ

III. 丁寧表現

- (30) A 行くよ イグヨ
 B 行きます イガシテ イタダキマス
 (31) A 今日は寒いね サムイネ
 B 今日は寒いね サムイデスネ
 C 今日は寒いですね オサム ゴザイマス
 (32) A 居るよ イルヨ／イマスヨ
 B 居ます オリマス
 (33) A よかったねえ ヨカッタネ
 B よかったですねえ ヨカッタデスネ
 C よかったですねえ ヨカッタデスネ

- (34) A そうか アーソー
 B そうですか ソーデスネ
 C そうですか ソーデスカー

IV. 人間関係に応じた待遇表現

IV-1 特定表現の待遇表現

- (35) その角を曲がって～ ソノカドオーミギニマガルト
 (36) とんでもない～ イニエワタシデワナイ

IV-2 多人数場面の待遇表現

- (37) 世話役を頼まれ、それを引き受けるとき
 ワタシミタイメデヨカッタラーヤラセテモライマショー
 (38) 皆さん参加してほしい
 ミナサンオイソガシードショーケドバンショークリアワセテ
 イッテイタダキタインデスケド

(39) 1. お寺の住職さん

- (A) オハヨーゴザイマス
 (B) オショーサンコレカラドコイグンデスカー

2. 校長先生

- (A) オハヨーゴザイマス
 (B) コーチョーセンセードチラエコレカラデカケルンデスカー

3. 見知らぬ年配の男性

- (A) コンニチワー／(会釈のみ)
 (B) 該当表現なし <見知らぬ人には、あまり話しかけない。>

4. 見知らぬ年配の女性

- (A) コンニチワー／(会釈のみ)
 (B) 該当表現なし <見知らぬ人には、あまり話しかけない。3と同様。>

5. 顔見知りの年上の男性

- (A) コンニチワー <親しい間では、形式的な挨拶がないこともある。>
 (B) オジチャンイマツカラドコエオデカケデスカ

6. 顔見知りの年上の女性

- (A) コンニチワー
 (B) オバチャンイマツカラドコイグノ／ <女性同士で5より親しくなる。>

7. 10歳ほど年下の見知らぬ男性

- (A) 該当表現なし
(B) 該当表現なし <年下で見知らぬ人には話しかけない。>

8. 10歳ほど年下の見知らぬ女性

- (A) 該当表現なし
(B) 該当表現なし <7と同じく、年下の見知らぬ人には話しかけない。>

9. 同級生の男性

- (A) コンニチワ / オハヨー ゴザイマス <後者は、やや疎遠な場合。>
(B) コレカラ オツトメ デスカ

10. 同級生の女性

- (A) コンニチワ / オハヨー ゴザイマス <後者は、やや疎遠な場合。>
(B) ドコ イグン デスー

11. 10歳ほど年下の顔見知りの男性

- (A) オハヨー ゴザイマス / (会釈のみ) <後者の方が、一般的である。>
(B) 該当表現なし

12. 10歳ほど年下の顔見知りの女性

- (A) オハヨー ゴザイマス / (会釈のみ) <後者の方が、一般的である。>
(B) 該当表現なし

13. 近所の中学生の男の子

- (A) イッテ ラッシャイ
(B) 該当表現なし

14. 近所の中学生の女の子

- (A) イッテ ラッシャイ
(B) 該当表現なし

Ⅲ. 総括

基本的に、表現自体には共通語的なものが多く感じられる。しかし、謙譲的な表現はあまりみられることがなかった。その場合、丁寧語でもって代替えしたり、表現そのものをさげ、まったく別の表現にしてしまう傾向がある。

また、文アクセントの傾向については、親しい関係の場合において、「イグヨー」のような当地特有の表現がみられる。また、アクセントが平坦なものも親しい間柄に多くみられる。そして立場が上の人になれば、より形式化し共通語的に変化の激しいアクセントをみせることがある。

(かわうち ひでき 新潟大学大学院生)